



私たちにもできる!! 地球温暖化防止の取り組み ～伊方中 エネルギー授業から～
(関連記事 5 ページ)

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

1月のテーマ“希望を語り合おう”

(実践方法)

- 家族そろって今年の目標をたてたり、新しい年の生活設計について話し合おう。

平成22年
1月1日発行

No.57

1月号



伊方町教育長

阿部 松 壽

新年あけましておめでとーうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は本町教育行政の推進に対しまして格別なるご指導ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

教育委員会では、学校教育、社会教育、社会体育、文化の振興等を推進することによりまして、教育の目的である「人格の完成」を目指して町民のみなさんの教育に全力で取り組んでまいっております。

学校教育については、人づくりがまちづくりの基本のもと、まちの将来を担う子ども達が生きる力と郷土を愛する豊かな心を身につけるため学校・家庭・地域が連携した学校教育をめざしてきております。

昨年も「豊かな人間性の育成」の一層の充実・発展を目指し、生涯学習の観点に立ち、基礎・基本の学習に取り組むことにより、自己教育力を培い、文化の伝統を

尊重し、心豊かでたくましい「伊方の子ども」の育成に努めてまいりました。

少子化の流れの中、子ども達の数は近年減少の一途をたどっており、昨年度塩成小学校が三机小学校に、そして豊の浦小学校が伊方小学校へと統合をされたところでありますが、将来的には学校運営が困難になってくる学校も見受けられる状況にあります。防災安全上の耐震補強、老朽校舎等の問題含めて今後の伊方町の学校施設の在り方を検討する学校再編検討委員会を立ち上げ検討をすることといたしました。方向性を検討するに当たっては地域の意見を尊重しながら進めていきたいと考えており、子ども達の将来を真剣に考えていかなければならないと思っております。

社会教育については、公民館活動における生涯学習講座の取り組み、公民館（分館）の活動及び組織づくり、図書館のシステム化による

一層の読書活動の推進を図り、社会人の学習への意欲、生きがいづくり、人権の尊重の町づくり等に努めておりますが、今後も積極的に推進してまいります。

社会体育では、各種スポーツ大会の開催、共催、後援、助成を行うと共に、町民の皆さんの健康保持・増進に努めました。

平成29年開催の愛媛国体の成年女子バレーボールの会場に伊方スポーツセンターが予定されており、地域が一体となってこの競技を盛り上げるためVリーグ所属のクラブチームの招聘を行うてまいりました。今後もこれを契機に事業推進をして参りたいと思っておりますので、町民の皆さんの積極的なご参加ご協力をお願いいたします。

また文化活動の推進及び文化財の保護等においては、町見郷土館での調査研究成果の特別展示をはじめ、中世の石造物に関するシンポジウムを開催するなど、

町民の多くの方のご支援をいただきながらすばらしい成果をあげています。今後とも文化財の保護等には引き続き力を注いで行きますので、ご協力をお願いいたします。

皆様方の知恵と力をお借りしながら、教育委員会が所管しています業務全般にわたります町民のみなさんの負託に応えられるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。年頭のあいさついたします。

謹んで

新年のお慶びを
申し上げます

教育委員長

森 清

教育委員

戸田 義則

教育委員

土居 由美

教育委員

森 元修治

参加者募集!!

第31回 三崎健康マラソン・ウォーキング大会

【と き】平成22年1月3日(日) 午後1時受付
(雨天中止)

【と ころ】三崎公民館前(受付・ゴール)

【マラソンコース】

- 3.0 km (高浦地区折り返し)
- 6.0 km (大佐田地区折り返し)
- 10.0 km (阿弥陀池折り返し)

【ウォーキングコース】

- 6.0 km (大佐田地区折り返し)

参加者には、もちろんお菓子がつきます。

新年の走り初めに、歩き初めに家族そろって参加しましょう。幼児、小学生、中学生は保護者の承諾を得て参加して下さい。

【連絡先】

三崎公民館 電話 54-1114



平成21年度 伊方健康マラソン大会

マラソンを通じて仲間づくりとスポーツを楽しみ、健康づくりにつなげよう。

【と き】平成22年1月17日(日) 小雨決行(荒天中止)
受付 9:00~9:40 スタート10:00

【と ころ】町見体育館(駐車場は九町小グラウンド)

【コ ー ス】

- 1.8kmコース
町見体育館⇒J A西宇和町見支店⇒九町中道路⇒町見体育館
- 2.5kmコース
町見体育館⇒九町西折り返し⇒町見体育館
- 4.0kmコース
町見体育館⇒町見武道館前折り返し⇒町見体育館

【賞 品】

参加者全員に参加賞・完走者に完走証

【申し込み】

参加希望者は、申込書に必要事項を記入の上、平成22年1月12日(火)までに各保育所、小中学校に提出してください。

【注意事項】

- ・未就学児は、保護者の責任のもと同伴で参加すること。
- ・車輛での伴走は全面禁止する。
- ・貴重品、着替え等の保管は各自の責任で行う。
- ・集合場所までの交通便は各自でお願いします。

【問い合わせ先】

伊方町教育委員会 生涯学習課 電話38-2661

体育功労表彰該当者は申請を! (2月1日(月)まで)

2月21日に開催が予定されている伊方町生涯学習推進大会で体育功労者表彰を行います。次の表彰基準に該当される方は、伊方町教育委員会生涯学習課又は各総合支所地域教育課に備え付けの申請書に関係資料を添付し、2月1日(月)までに提出して下さい。表彰基準、対象期間については、次のとおりですが、詳細な内容についてはお問い合わせ下さい。

【表彰基準】

(1) 個人の場合

- 個人競技で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝者
- 個人又は団体競技の選手として県予選を経た四国大会以上の出場者

(2) 団体の場合

- 団体競技で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝チーム
- 県予選又は推薦を経た四国大会以上の出場チーム

(3) 個人、団体を問わず国際大会出場者

【対象期間】

平成21年1月1日~平成21年12月31日までの間に開催された大会

【問い合わせ先】

- ・生涯学習課 ☎ 38-2661
- ・瀬戸地域教育課 ☎ 57-2111
- ・三崎地域教育課 ☎ 54-1114



ライフアップ講座のご案内 (第3回)

2月14日は町にチョコがあふれるバレンタインデーです。第3回のライフアップ講座はチョコレートをテーマにしたお菓子作りを開催します。愛情をスパイスにした「あまーい」お菓子作りを体験してみませんか。

- 日 時 平成22年1月13日(水) 18:30~20:30
- 場 所 伊方町中央公民館 3階 調理実習室
- 内 容 チョコレートを使ったお菓子作り
- 講 師 大下 初代 先生
- 定 員 20名程度
- 材 料 費 500円(当日集めます)
- 持 参 品 エプロン、三角巾
- 申込方法 1月7日(木)までに住所・氏名・電話番号を生涯学習課へご連絡下さい。
伊方町教育委員会生涯学習課
TEL 38-2661 FAX 38-1179



三崎小学校緑の少年隊が全国表彰

全国青少年健全育成強調月間にあわせて、11月30日に東京都国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「青少年育成全国大会」で地域社会に貢献した青少年の表彰式がありました。全国32の個人・団体の中に、本町の「三崎小学校緑の少年隊」が選ばれ、当日は6年生山崎涼平くんと米澤校長先生が参加し表彰を受けました。

三崎小学校緑の少年隊は、地域の環境美化活動を目的に平成6年に結成。遠足にあわせた海岸清掃や、育てた花を各家庭に配布する花いっぱい運動、地域内の清掃などの取り組みを継続して実施しています。表彰を受けた山崎くんは、「今までの先輩たちが、ずっと取り組んできた活動を、僕たちが引き継いだからこそいただいた賞だと思います。これからも地域に役立つような活動を続けていきたいです。そして、下の学年の人たちも引き継いでもらいたいです。」と受賞の喜びを語っていただきました。今回の表彰を期に、今後ともこのような活動を通してボランティア精神を養い、心豊かな青少年の育成がさらに盛んになることが期待されます。



福島大臣と表彰者全員で記念撮影
(表彰式に出席した山崎涼平くん
後列右から2番目)

山下医院院長が三崎小 中学校へ多額の寄附

三崎地域山下医院の山下康喜院長より、12月8日に院長の母校でもある三崎小中学校に寄附があり贈呈式が行われました。

山下院長は、昭和33年7月28日に現在の三崎地区に開業し、50年にわたり地域医療に貢献していただいています。

寄附を受けた三崎小学校米澤修一校長と三崎中学校井原正晴校長は「山下先生には、これまでも小学校、中学校に対して、度々、温かいご支援をいただけてきました。今回、このような形で多額のご寄附をいただき本当に感謝の気持ちで一杯です。先生の地域や学校への深い愛情を強く感じています。先生のご厚情に応えるためにも、子どもたちや学校の教育活動にしっかり活かせるように使わせていただきます。本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。

山下院長からは、「皆さんにお世話になりここまでやってこられました。地域の方々に少しでも恩返しをと思い寄附をさせていただきました。子どもたちの教育振興のために活用してください。」とあいさつをいただきました。

「日本女性会議2009 さかい」に参加して

いかた女性塾 中田 八千代

私たち女性塾生5名は、10月30日～31日大阪府堺市で開催された、「日本女性会議2009さかい」に参加しました。大会テーマは『山の動く日きたる』～ジェンダー平等の宇宙(そら)へ～で、これは堺が生んだ歌人と謝野晶子の一節です。私たちは2004年開催の松山大会より連続の参加です。

30日は早朝よりJRを乗継ぎ、昼からの全体会に出席しました。今回は全体会が3会場もあり、私たちは全体会Bでした。まずは内閣府男女共同参画局長の岡島敦子さんより基調報告があり、その後「世界の女性の現在、そしてこれからの地球社会～女性差別撤廃条約と国際社会の役割～」をテーマに林陽子さん(弁護士)、李節子さん(長崎県立大学大学院教授)の対談を聞きました。今の女性の置かれている状況を詳しく知ることができました。

31日は午前中、17分科会が堺市内各施設で行われました。私たちは、第16分科会の＜パネルディスカッション＞『時代の《今》に響きあう、晶子の生き方』を選び参加しま

した。晶子が誕生してから100年たった今日、その精神が生かされ、女性の自尊、自立と地位向上に向かっていくことを知りました。午後は別会場に移動して全体会がありました。「与謝野晶子ーはたらく女・恋する女」と題して、小倉千加子さん(大学教授)、山田登世子さん(大学教授)の対談があり、その後、大会宣言で日本政府に女性差別撤廃条約選択議定書の批准をすることを要望して閉会式を迎えました。

次の開催地は京都です。帰路、電車のトラブルなどがあり、一時不安もありましたが無事帰町しました。

我が伊方町でも、男女共同参画に関する計画が出来るそうです。その日が一日でも早く来ることを希望しています。



ふるさとウォーク2009開催

11月15日(日)伊方町体育協会伊方支部主催、伊方町・伊方町教育委員会・伊方町健康づくり推進協議会・共催により、ふるさとウォーク2009が伊方地域で開催されました。

このウォークは、地域の自然の中で、歴史、文化にふれあいながら歩き、あわせて日頃の運動不足の解消、健康増進を図ることを目的に毎年コースを変更して開催されています。

今年は、伊方町民グラウンドをスタートし、室鼻公園まで行って帰る、約8.5kmのコースで実施されました。

参加者は、たわなに実るみかんの樹園地が広がる中を、絶好の



ロケーションを満喫しながら歩きました。途中、収穫作業中の生産者のご厚意からもぎたてのみかんを頂くなど、嬉しいハプニングがありました。

コース沿いでは、所要所要にポイントを設け、スタンプラリー、歩数当てクイズなどをし、爽やかにウォーキングしました。ゴール地点では道中詠んだ俳句の講評を行い、各種賞品の授与が行われました。また、抽選会では当選者発表のたびに歓喜の声上がり、楽しい一日を過ごしました。

エネルギーを大切に使おう！

～よんでんエネルギー授業～

11月17日、伊方中学校1年生52名がエネルギー授業を受けました。(11月19日には、瀬戸中・三崎中合同でこのエネルギー授業を受けました。)この事業は、文部科学省主催の事業で生徒の皆さんがエネルギーについて理解を深めるとともにエネルギーの活用について自ら考え、判断する力を身につけることを目的に実施されました。

はじめに教頭先生から、驚く時やびっくりした時は声を出してよいが、説明はしっかり聞くようにと注意がありました。四国電力の職員2名が、図や模型を示しながらわかりやすく説明を行いました。地球温暖化のしくみは、2つの地球の模型を使って片方に二酸化炭素を入れて、両方同じように電気の光があたるようにして地球の温度の上がり方を調べました。実験の結果、3分間で2.4℃二酸化炭素を入れた地球のほうが高くなりました。

ほかには、年度ごとの二酸化炭素の増加の仕方や電気を作るために火力発電や水力発電、原子力発電がどのくらい二酸化炭素を出しているのか、家庭の中では照明や電気製品などからの二酸化炭素排出量が一番多



く、次いで自動車からとなっている。また、エネルギーの輸入先やエネルギーの利用できる年数(石油は42年、石炭133年、ウラン100年)やクリーンエネルギー(太陽光、地熱、風力など)の長所・短所について学びました。

最後に、私たちができることとして①照明や家電製品を省エネ家電に変える。②自動車をハイブリッド車に変える。③中学生もできることは、電気をこまめに消す。水は出しっぱなしにしないで大切に使う。④好き嫌いなくごはんは残さず食べようの3つの項目が挙げられました。実技では、手回し発電や自転車での発電で電気を作って電灯を点けたりラジオを聴いたり、液体窒素をつかった実験など生徒の皆さんが実際に体験してエネルギーの大切さを学びました。

公民館だより

第3回平成大学

「インフルエンザ予防について」 「新型インフルエンザの現状と対策」

中央公民館

11月12日(木)伊方町生涯学習センター5階多目的ホールにおいて、第3回平成大学が開講されました。

最初に、中央保健センター職員に血圧検査、健康診断をしていただき、日頃の健康について心配な事を相談してもらいました。

その後に、愛媛県八幡浜保健所より攝津和彦先生を招いてインフルエンザ予防について講義をしていただきました。

はじめにインフルエンザとは、どんな

ものか?を説明し

ていただき、発生

状況、感染経路に

ついての概要を説

明していただきま

した。次に、具体的

な予防法について

の説明をしていた

だきました。一番

大事なのは、日頃

から習慣つけて手

洗い、うがいをす



血圧検査と健康診断の様子



八幡浜保健所 攝津先生の講義

とで、手洗いうがいは様々な感染症の予防の基本だと習いました。

今現在、伊方町の小、中学校では、学級閉鎖や学校閉鎖があり、とても流行している状態です。かからないための予防やかかってからの対応策なども今回の講演で勉強になったと思います。

現在ワクチンの予防接種も優先接種対象者があり、順番待ちの状態ですが、それまでにかからないように日頃から予防していただきたいです。

こども映画塾「三机編」

瀬戸公民館

11月22日(日)、瀬戸町民センター及び三机地区にて「こども映画塾「三机編」」を開催、町内の小学生が参加の中、3つのグループに別れて、デジカメを使った簡単な映画づくりに挑戦していただきました。

この映画塾は、昨年も開催しており、今回で2回目となります。当日は、映画制作のお手伝いをなさっているアジアフィルムネットワークのお兄さんお姉さん方に、全体の進行、指導、グループ毎のナビゲーションをお願いし、子ども達と一緒に、楽しみながら映画づくりを進めていきました。

午前中は、はじめにオリエンテーションを行い、サンプルムービーを上映して、これから何をするのかを子ども達に説明、次に、物語のテーマ(テーマの内容は、須賀の森に関するものでした。)に沿ったネタを探しに、三机地区(須賀公園など)を散策しながら、デジカメで物語の素材となる被写体をいろいろ撮影していただきました。

物語に使う写真は4枚だけで、その4枚の写真を起承転結でつなげて、物語をつくらせていきます。一通りの撮影が終わると、瀬戸町民センターに戻って、自分達で撮った写真を参考に、絵コンテで物語の素案を構成していただきました。

お昼にみんなでカレーを食べて元気をつけた後は、物語に使う4枚の写真を

選定、納得のいく写真がないグループは再び、物語に必要な写真を撮影しにいきました。

必要な写真が決まれば、その写真を、コンピュータを使って編集・加工し、ストーリーに合わせた音声録音を行います。

出来上がった作品は、みんなの前で発表をし、最後に、参加者全員に修了証を授与してこども映画塾を終了しました。

参加した子ども達は、たくさんの写真を撮っていく中で、次第にデジカメに興味を持ち、写真を撮る面白さを感じているようでした。

また、完成した作品は、子ども達の豊かな感性、創造力、発想力がたくさん詰まった面白い作品となりました。



「絵手紙教室開催!!」

町見公民館

12月7日(月)町見公民館において、絵手紙グループ「のじぎく」の皆さんをお迎えし、絵手紙教室を開催しました。

今年で3回目となるこの事業は絵手紙とおして小学校児童と絵手紙グループ「のじぎく」会員との交流を図り、絵手紙のやりとりによる友達・仲間づくりに寄与することを目的としています。

今年はこのじぎくの会員11名・小学校児童7名・保護者3名が参加しました。参加者の皆さんは筆の使い方や着色の方法などを指導していただ



きながら季節の果物や野菜・来年の干支の虎などを描きました。また今年は新聞のカラーページを利用したちぎりの絵にも挑戦し、立体感のある味わい深い作品が出来上がりました。出来上がった作品は町見公民館のロビーや、二見公民館まつりで展示する予定です。

第4回 男の料理教室開催のご案内

★と き 平成22年1月29日(金) 18時30分

★ところ 町見公民館 2階 調理室

★対象 町見地区にお住まいの男性

ミセススクール会員

(ミセススクール会員以外の方の参加も大歓迎です。)

参加希望の方は1月21日(木)までに町見公民館までご連絡をお願いいたします。(電話・FAX可)

町見公民館 電話 39-0212 FAX 39-1152

同じルールでレクバレーを楽しもう

ハワイアンフラクラブ結成

三崎公民館

『レクバレー審判員交流会』

共通のルールで、町内のレクバレー愛好者の交流の輪を広げようと町体育協会三崎支部レクバレー部は12月6日、三崎総合体育館で審判員交流会を開催しました。

レクバレーの普及拡大のために部が一本立ちしていこうと、約4ヶ月前から同交流会を企画し、部員たちが手作りで準備を重ねてきました。必要な資金は、町の「町民交流促進事業」の補助金を活用、ルールの講習は、専門家である県レクバレー協議会の審判員に依頼しました。当日は、町体協レクバレー部の各支部から40人が参加、半日の講習でレクバレーの正しいルールや審判法を学びました。

部員の皆さんは、今後も自主的な運営を目指すことで、地域に根付いた活動をしていきたいと考えているそうです。

レクバレー部の皆さん、交流会大成功おめでございました。



線審のハンド・シグナルを学ぶ参加者



南国のメロディーに乗り、体をフラフラ

『ハワイアンフラクラブ結成』

今年の3月から三崎公民館事業で開催してきたハワイアンフラ教室が、来年の4月から自主運営で活動を継続することとなりました。現在の8人のメンバーが今後も活動していきますが、新規会員大歓迎です。年齢に関係なく誰でも気軽に行えるフラは、膝・腰・腕など全身の関節を柔軟にしたり、血圧を下げたりする効果もあるそうです。皆さんも一緒にフラしませんか。参加を希望されます方は、三崎公民館または、清家アサ子さんまでお問い合わせください。

(お問い合わせ先 電話番号)

54-1114(三崎公民館) 54-1196(清家アサ子さん)



学校通信



世界を広げよう

二名津小学校

本校では、子どもたちの豊かな情懷をはぐくむため、様々な活動を取り入れています。

初めに「音楽」を紹介します。

昨年度より、学期に一回演奏会を開催しています。これまでに、クラリネット演奏・ユーファニウム演奏・オペラ・弦楽四重奏などを聞かせていただきました。子どもたちは、確かな腕前の音楽家による、本物の音色やテクニックを堪能することができ、音楽の世界を広げていっています。

次に紹介するのは、「落語」です。テレビでおなじみ「くさぶろつ」さんに人権教育講演会を開いていただきました。

断家らしく、言葉の大切さを人権に絡ませてお話していただき、最後には、言葉のおもしろさという視点で落語を一席設けていただきました。子どもたちも地域や保護者の方々も、よく笑い、言葉のもつ力の大きさを感じ取ることができていました。

最後に紹介するのは、「鶴姫伝説」です。ミュージカルなど、なかなか見る機会のない環境にあるので、本物に触れれば、

舞台芸術に興味をもつ子がいなり、ミュージカルスターを目指したりする子が出てくるかもしれません。芸術体験は、子どもたちの夢への扉も広げていくことでしょう。

体験は、何にも勝る教育です。「百聞は一見に如かず」「百見は一体験に如かず」です。自分の目で見て、体験して、そして自分で考えてを繰り返していくことで、その子の心の琴線に触れる何かが見つかっていくと考えています。今後、少しでも多くの本物体験を積み重ね、子どもたちの世界を広げていきたいと考えます。



実りの秋

大久小学校

前回の学校通信でもお知らせした、大久小学校「夢はばだけー」での秋の収穫の様子をお知らせします。この秋に最初に収穫したのは、里芋、さつま芋、じゃがいも、山芋の4種類の芋です。さつま芋は、いもほり集会で芋の大きさ比べをしたり、おもしろい形の芋の紹介をしたりして楽しみました。そして、収穫した芋を使って、保護者の皆様に作っていただいた料理(いもスティック、蒸しパン、さつま揚げ)を「ごちそう」になりました。6年生が作ってくれたクッキーもとても評判がよかったです。

山芋づくりは、2年生が初めてチャレンジしたのですが、半年間水やりを頑張った甲斐あってとても大きな山芋がたくさんできていました。地面の奥深くまで伸びていたので掘るのがたいへんで1時間掘れず、

休憩をはさんで昼休みに再度チャレンジしました。その分、掘り起こした時の感動は大きく、児童は、みんな思わず大きな歓声をあげていました。その他、白菜、大根、人参、高菜、水菜等々



現在も大きく成長しています。そしてなんとと言っても、昨年度末卒業記念として植樹した「宮川早生8年生」が収穫の時期を迎えました。3・4年生が大事に育ててくれた3本のみかんの木は、たくさん甘い実をつけることができている。ぜひ、大久小学校に来校され、みかんをお一ついかがでしょうか。

夢は、これからますます広がっていきます。「夢はばだけー」では、現在、低学年がいちごも栽培しており、さらに、来年度に向けてさくらんぼの木を植樹しようとして計画しています。今後とも、子どもたちといっしょに小さくても楽しい夢を追いつけていける学校でありたいと思っています。

伊方小と佐田岬小が優勝

西宇和郡小学校サッカー大会

町内の小学校が集まり、11月18日に町民グラウンドでサッカー大会が開催されました。インフルエンザのため棄権をした1校を除いた8校が参加しました。選手の数により9人制（Aゾーン：伊方、九町、三机、大久、三崎）と7人制（Bゾーン：佐田岬、二見、一石津）の2つのグループに分けられ、Aゾーンはリンク戦で予選を行い上位2チームが決勝へ。Bゾーンは、チーム数が減った為、リーグ戦で試合が行われました。Bゾーンは、佐田岬小学校が圧倒的な強さで優勝しました。Aゾーンは、三崎と伊方が予選リーグをともに2勝して決勝へ進みました。

決勝戦前半は、おいしい場面もありましたが決定力不足で得点がどちらも入らず0対0。後半、伊方が2点をもちとり2対0で伊方小学校が優勝しました。会場には、保護者や選手以外の児童のみなさんがかけつけ、好機を逃した時のため息や得点を挙げたときの歓声など、一喜一憂しながら一生懸命応援をしていました。



Aゾーン優勝の伊方小学校



心を一つにみんなで演奏

伊方町小中学校音楽発表会

11月26日、町民会館大ホールで町内音楽発表会が開催されました。町内の小中学校が参加し、素敵な歌声や楽器の演奏を披露しました。どの学校も2学期は忙しく、運動会からはじまって中学校は新人戦、文化祭、小学校は陸上大会、サッカー大会と行事がたくさんあつてそちらの練習や準備もしながら今回の発表会の練習もおこなってきました。

器楽演奏の部一番初めは、水ヶ浦小学校。22名が参加して、テレビドラマの主題歌に挑戦。二見小学校は、全校児童が参加。おまつりワッショイ大会をイメージした演奏を披露しました。九町小学校は、2年生以上が参加し、手を楽器の一部として楽器と拍手を組み合わせた演奏を、佐田岬小学校は、3年生以上24名が、NHK大河ドラマの主題歌のイメージにあわせ心に愛を描きながら強弱をつけた力強い演奏を披露しました。少ない人数にもかかわらず、どの学校も力強い一体感のある演奏を披露していました。中には、先生が子どもたちと一緒に演奏に参加している姿も見られました。



水ヶ浦小の「天地人～オープニングテーマ」



二見小の「和太鼓キッズ・フェスタ」

全国青年大会に出場

軟式野球・フットサル

11月14日～16日、東京都で開催された全国青年大会に本町から軟式野球とフットサルが出場しました。軟式野球は、前年度準優勝宮城県チームと対戦し、好機を活かせず残念ながら1回戦敗退。フットサルは、予選リーグ2勝で決勝へ。8チームで争われた、決勝では思うように得点が奪えず勝つことができませんでしたが8位入賞という成績を残しました。

（結果）

【軟式野球】（1回戦）

宮城	1	1	1	1	0	0	4
伊方町	0	0	0	0	0	0	0
（宮城県チームは2年連続準優勝）							

【フットサル】（予選リーグ）

伊方町	1	0	0	0	0	秋田
伊方町	4	2	1	0	1	福井
（決勝トーナメント1回戦）						
伊方町	0	0	2	3	5	岩手
（5位決定戦）						
伊方町	1	0	1	3	6	滋賀
（7位決定戦）						
伊方町	0	0	0	1	1	静岡



図書館だより



1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	⑨
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	②③
24	25	26	27	28	29	30
31						

○…おはなし会

■…休館日

利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）

祝日、月末図書整理日、年末年始、特別図書整理期間

■瀬戸・三崎地域の方へ

瀬戸地域市民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地

TEL(0894) 38-0607

新着図書

●オススメ



・がまんのケーキ

／かがくいひろし 作

〈内容紹介〉

いちごがいっぱいのったおいしそうなケーキを目の前にした、こいたろうくんとかめそうさん。はたしてふたりはケーキの誘惑に負けず、けるこさんを待つことができるのか？



・とっておきの詩

／村上しいこ 作

市居みか 絵

〈内容紹介〉

冬休みに詩を書いてくる宿題、ずっと考えてたけれどひとつもできなかった。ほんまは今日ひとつできたけど、ええことない言われてボツや。けっこう、おもしろいと思ったけど。

《児童》

- ・こねこ9ひきぐーぐーぐー / マイケル・グレニエイツ さく・え
- ・おばけやしきにおひっこし / カズノ・コハラ 作 石津ちひろ 訳
- ・ダリウスが飛んだ / ビル・ハーレイ 作 日当陽子 訳
- ・帰ってきた半ズボン隊 上・下 / ジョアン・ドヴェンカー 作 木本栄 訳
- ・つるばら村の大工さん / 茂市久美子 作 柿田ゆかり 絵
- ・1ねん1くみ1ばんサイコー! / 後藤竜二 作 長谷川知子 絵 ほか



・木練柿

あさのあつこ 著

〈内容紹介〉

刀を捨てた商人遠野屋清之介。執拗に事件を追う同心木暮信次郎と岡っ引伊佐治。ささやかな幸せに忍び寄る闇を前に、男たちは思い抗う。



・楽天道

佐藤愛子 著

〈内容紹介〉

人生、50からが本舞台。「楽天」は世を生きる知恵、女の底力…。著者が50代から60代にかけて書いた作品の中から、選び出して編集。

《一般》

- ・掏摸 / 中村文則 著
- ・無理 / 奥田英朗 著
- ・星をつかった男 / 重松 清 著
- ・独居45 / 吉村萬壺 著
- ・ニサッタ ニサッタ / 乃南 アサ 著
- ・わが人生の歌がたり / 五木寛之 著
- ・頂きはどこにある? / スペンサー・ジョンソン 著 門田美鈴 訳
- ・誰かと暮らすということ / 伊藤たかみ 著
- ・6TEEN / 石田衣良 著

ほか

《お知らせ》

平成22年1月1日(金)～1月4日(月)は年末年始のため、休館いたします。

この期間に本・雑誌を返却される方は、生涯学習センター1階入口横の返却ポストをご利用ください。

《図書館からのおねがい》

本や絵本のページをあやまってやぶいた時には、専用のテープで直しますのでやぶれたページのまま図書館に持ってきてください。損傷が激しい資料については弁償していただくことがあります。

ピップスおはなし会のごあんない ～ 今月のおはなし会 ～

日 時：9日(土)・23日(土) 午後2時～

場 所：図書館 おはなしコーナー

対 象 者：未就学児童および親子

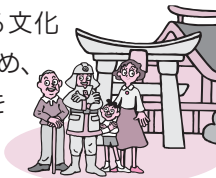
小学校低学年児童

絵本や紙芝居などたのしいおはなしを聞かせてくれるよ。みんなきてね！



1月26日は 第55回 文化財防火デー

昭和24年の法隆寺金堂焼失を機に昭和30年から制定されました。郷土の歴史や文化を伝える文化財を災害から守るため、日ごろから防災意識を高めましょう。



◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合) 39-2661 生涯学習課
開館時間 9:30~16:30
休館 月曜日ほか

2010年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■=おやすみ □=夜スライド上映

祝! 佐田岬半島の自然 スライド上映会30回を突破!

毎月第4水曜日、夜7時から開催している「佐田岬半島の自然スライド上映会」が、12月23日の回で30回目を記録しました! 佐田岬半島生物研究舎の水本孝志先生を講師に迎え、当館サポーター「佐田岬みつ隊」の有志「はちくま隊」が主催するかたちで、2007年7月にスタートして



以来2年半、これまでのべ380人以上のみなさんにお越しいただきました! 半島の自然の素晴らしさ貴重さと、その危うさを楽しく学ぶ草の根夜間学校、これからも続きます!

1月の佐田岬半島の自然スライド上映会
オりのない動物園 1月27日(水) 夜19時~
入場無料。お気軽に♪

町見郷土館から

二月二日は「二月二日水」とか「水」と書いた紙片を入り口の柱に貼って、火災除けのまじないにした『重信町誌』(重信町(現東温市)昭和六三年発行)一一九七頁

この日の朝、二月二日水」と紙に書いて家の柱や、かまど等にこの紙を貼って、火災除けのまじないにする風習が昔からつづけられている家も

写真は数年前に解体された、小中浦地区の某民家の柱です。調査に入ったときに撮った写真ですが、よく見ると「二月二日水」と書かれた紙が柱に貼られてありますね。いったいこれ何でしょう?

県内の市町村誌を調べると、3つだけ似たような事例を探することができました。

十二月十二日水

多い。『明浜町誌』(明浜町(現西予市)役場 昭和六一年発行)九六一頁

旧二月二日の早朝、井戸水を汲み、この水で「二月二日の水」と書いた札を家の柱や蔵の入口等にはって、火災除けのおまじないとした。「霜柱、氷の針に雪のけた、雨のたるきに露の冬草」と言いながらはりつけた。

『新編肱川町誌』(肱川町(現大洲市)平成一五年発行)七八六頁

三番目の事例で出た唱え言は、「霜柱、氷の梁に、雪の桁、雨の垂木に、露の葺き草」と家屋の柱・梁・桁・垂木などを水に絡めて詠んだ呪術的な和歌で、全国各地で散見され



十二月十二日水 (小中浦 2006年撮影)

参考文献・水藤真『棟札の研究』思文閣出版二〇〇五年、各市町誌など。

ますが、近隣では徳島県の民家の棟札に書かれていた例が知られています。それにしても、水を連想させて火事除けにする昔の人の想像力のなんと豊かなこと!

「二月二日水」――実は町内でこれ以外に未だ実例を聞いたことがありません。もしご存知の方おられましたら、町見郷土館までお知らせいただけると嬉しいです。

佐田岬民俗ノート

56

～平成22年度 伊方町奨学生を募集～ (高校・大学等に進学を希望又は在学されている皆さんへ)

伊方町では、経済的な理由により修学困難な学生又は生徒に対し、学資金を貸与して有用な人材を育成することを目的として奨学金制度を実施しています。

(出願資格)

- (1) 平成22年4月に学校教育法に規定する高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)、高等専門学校、大学、専修学校に進学する者及び在学する者。
- (2) 人物、学業ともにすぐれ、健康であり、かつ、学資金の負担が困難であると認められる者。
- (3) 保護者又はこれに準ずる家族(成人者に限る。)が伊方町内に居住すること。
- (4) 保護者又はこれに準ずる家族につき、町税(保育料・給食費・水道料・住宅料)等に滞納がないこと。
- (5) 奨学金償還について、十分な能力・見通しを有すること。

(貸与月額)

高校奨学生	20,000円
高専奨学生	35,000円
大学(短大)奨学生	45,000円
専修学校奨学生(専門課程)	35,000円
〃 (高等課程)	20,000円

(貸与月)

- 6月末(4～7月分) 9月末(8～12月分)
1月末(1～3月分)

(貸与期間)

平成22年4月から進学する学校の正規の修業期間

(出願手続)

「伊方町奨学生願書」、「平成20年分の町県民税公課所得証明書」(世帯全員分)を添えて在学する学校へ提出してください。(出願用紙は、町内の各中学校、八西管内の高校及び教育委員会、瀬戸地域教育課、三崎地域教育課にあります。)

(提出期限)

在学する学校が指示する出願期限まで

(採用の決定)

伊方町奨学資金選考委員会の選考を経て、採用候補者を決定し、通知します。

(奨学金の返還)

返還は、貸与が終了して6ヶ月を経た後、年賦の方法により、15年以内で教育委員会が定める期間内に返還していただきます。貸与金に利息はつきません。

☆ 奨学金についてのお問い合わせは、教育委員会又は学校へご連絡ください。

伊方町教育委員会 学校教育課 電話38-2660
瀬戸地域教育課 電話57-2111
三崎地域教育課 電話54-1114

児遊館より

未来飛行機リング・リング・グライダーを作りました!

1月16日(土)午後2時から、未来飛行機リング・リング・グライダーを作りました! 何人かで飛ば距離を比べたり、的に通すゲームなどができます!

参加御希望の方は生涯学習センター内児遊館まで申込みしてください。

参加費: 無料。

映画上映会のご案内

1月9日(土) 児遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 児遊館内 集会室

作 品 名 スペースレンジャー・バズライトイヤー

上映時間 1回目 10:00～11:10

2回目 15:00～16:10

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-0211(内線856)

伊方スポーツセンターでより

ジュニアスポーツ&バランスボール教室のご案内

○運動神経が著しく発達するのは子どもの時期です!!

この時期はゴールデンエイジと言われ、神経系が一番発達し、骨や筋肉の発達、成長の土台となる時期です。

スポーツセンターではこの時期に、全身的で多様な動きを取り入れた運動プログラムをご用意し、お子様の健全な発育・発達をサポートしてまいります。

また、走るのが速くなりたい! など、競技力向上の指導、相談もいたします。

「1月9日に無料体験会を致します。是非、ご参加ください。」

【期 間】 1月9日・16日・23日・30日 第4期
2月6日・13日・20日・27日 第5期
3月6日・13日・20日・27日 第6期

【時 間】 14:30～16:00

【曜 日】 土曜日

【対象者】 5～8歳までの幼児・児童

【場 所】 伊方スポーツセンター 3階 アリーナ・プール

【受講料】 2,000円/1期(4回分)

【持ち物】 運動できる服装・屋内シューズ・飲み物・タオル・水泳道具

【その他】 期間中プールカトレーニング室の使用が2回無料

●内容● テニス・バスケット・スイミング・サッカー & コーディネーショントレーニング・バランスボール体操 マット運動 など

*ラケットなどの運動道具はスポーツセンターで準備しています

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776



ひとり一人の思いや願いを大切に

～人権フェスタ2009“いかた”開催～



オープニングを盛り上げた「龍心太鼓」(宇和島市)

強い決意で締めくくられました。(全文は、次号掲載予定)
講演は、俳優・演出家の高津住男さんと女優の真屋順子さんから「ありのままに、生きる」と題した実生活の話でした。真屋さんは、平成12年に脳出血を発

人権週間(12月4日～12月10日)にあわせて、12月13日に「人権フェスタ2009“いかた”」を開催しました。会場の町民会館には、町民およそ600名が集まりました。
オープニングは、宇和島市の「龍心太鼓」の演奏です。昭和47年に部落解放運動を機に結成された歴史ある「龍心太鼓」の演奏は、鬼の面をかぶつての振り付けに部落解放の熱き思いが太鼓の響きとともに心の叫びとして場内に伝わってきました。
町長あいさつの後は、人権作文の発表です。伊方中学校3年上甲幸乃さんの「昔の自分と今の自分」と題して、人権というものに興味がなかった自分が、中学生になり「ハンセ

ン病」や他の人権問題について授業で学ぶうちに意識が大きく変化していく様子の発表でした。上甲さんは、「人権委員長」としてみんなの協力を得ていろいろな活動を行い、経験を通して学んできました。発表の最後に、経験から得た「知識を「力」に変えるための必要性と自分自身を変えるという



伊方中3年上甲幸乃さんの人権作文発表



講演講師の高津住男さんと真屋順子さん

症し、左半身不随となりましたが本人の懸命のリハビリとそれを支える家族の絆によって、女優としての再起にける姿を語っていただきました。台本はなく、その場の雰囲気での講演をこれまで500回以上実施しているということより、時には2人の漫才のようなかきあいや会場の笑いを誘ったりして和やかに行われました。
結婚しての41年間はあつという間に経過したという話から始まり、脳出血で倒れた時の話や芸能界で自分がいじめられた話などを生々しく語っていただきました。その経験の中から、愛さえあれば人権は難しくないという言葉がありました。
講演の最後に、高津さんからは「人が人のお世話をすることは、男

女関係なく手を差し伸べることは素晴らしいこと。人権問題は、自分の代だけで終わらせるのではなく、次の世代へ語り継ぐことが大切。また、真屋さんからは「苦しいことを乗り越えたり失敗を経験することにより、相手の心をキャッチすることができ、さらに自分自身が寛容な心を持つことが出来れば楽しく人生を生きることが出来る。」と結んでいた

「いかた学童クラブ」の参加児童募集のお知らせ

町教育委員会では、放課後帰宅しても保護者がいない児童を対象に「いかた学童クラブ」を開設しておりますが、平成22年度も左記の要領で児童を募集いたします。

【平成22年度 いかた学童クラブ募集要領】

- (1) 目的
放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、平日午後1時(1時以降下校の時間による)から午後6時まで、土曜日・夏冬春休み午前9時30分から午後6時まで学童クラブを開設し、仲間つくりを通して、児童の健全育成を図る。
- (2) 実施期間
平成22年4月1日(木)～平成23年3月31日(木)まで
ただし、日曜日、休館日(月曜日、祝日、年末年始等)を除く
- (3) 実施場所
伊方町生涯学習センター 3階児童遊館内 放課後児童クラブ室
- (4) 対象者
町内の小学校に在籍する低中学年(3年生まで)で、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童
- (5) 定員
20名まで(希望者が多数の場合は別途選考)
- (6) 申込場所
伊方町生涯学習センター内 3階 児童遊館 (TEL 38-10211)
- (7) 申込期限
平成22年3月5日(金)
- (8) 負担金
1ヶ月 2,000円(おやつ代など)
- (9) 留意事項
①児童の送迎は、各家庭で責任を持って行うこと。
②申込者はスポーツ安全保険(自己負担:6000円)に加入すること
③万一、事故等が発生しても町は一切責任を負いません



人権学習シリーズ 236



第61回全国人権・同和教育研究大会に参加して

人権擁護委員 梶谷捷三郎

全国人権・同和教育研究大会が、三重県四日市市で開催されました。昭和28年に全国同和教育協議会が結成され、「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」と第1回全国同和教育研究大会が大阪市で開催されてから61回目の大会になります。その間、社会情勢の変化に伴い、第51回大会から「全国人権・同和教育研究大会」と名称が変更

され、今年度から組織が「全国人権教育研究協議会」と変更されました。「同和教育を基軸にした人権教育の創造」という基本理念は変わりませんが、領域や内容等については少しずつ変わってきているように思われます。

私は、「人権確立を目指す地域の教育力」という第4分科会に参加しました。報告の中から、四日市市赤堀地域の取り組みの概略を紹介

『人権のまちづくりモデル地区事業として、8名で人権啓発の会を作り「住みやすいまち住みたいまち」の実現に向けて活動を始めた。活動の為にチラシや資料作りパソコン技術が必要となり「パソコングループ」を作り、共に働き共に収穫を喜び合える農園をという地域の人たちの声をもとに「生きがい農園」グループを作るなど、徐々に交流と活動を広げていった。6年目の現在では、赤堀人権のまちづくり

『人権のまちづくりモデル地区事業として、8名で人権啓発の会を作り「住みやすいまち住みたいまち」の実現に向けて活動を始めた。活動の為にチラシや資料作りパソコン技術が必要となり「パソコングループ」を作り、共に働き共に収穫を喜び合える農園をという地域の人たちの声をもとに「生きがい農園」グループを作るなど、徐々に交流と活動を広げていった。6年目の現在では、赤堀人権のまちづくり



南予地区人権・同和教育研究協議会に参加して

生涯学習課 大橋 伴久

『すべての住民が差別の現実深く学び、同和教育をはじめとする様々な人権問題解決への明るい展望を持ち、地域課題として主体的に取り組むにはどうしたらよいか。』を研究主題に、南予地区人権・同和教育研究協議会が内子町で開催されました。

内子町立五十崎小学校での第2分科会では、「差別されてきた人々の優しさや尊い生き方に気付く、差別を解消しようとする心情を育てる。」を指導のねらいとして、「山の粥」(きょうだい 愛媛人権教育協議会)を資料として活用した高学年(6年生)の公開授業に参加しました。

この「山の粥」は、厳しい差別を受けてきた村の人が、飢饉で苦しむ農民に対しての行動から差別の不合理さをより深く理解するとともに、その差別されてきた人々の生き方について考えさせる教材で、児童の皆さんは、先生の質問に対して農民や村の人たちの気持ちを考えながら、素直な心で自分の考えや思いを発表していたのが印象的で、相手

を思いやるやさしさを感じることができました。

午後からは、社会教育と小学校教育で2本の実践報告がありました。特に社会教育の報告の中で、「現実に結婚差別があった。」との報告があり、フロアーからは、今まで何十年と取り組んできた活動は何だったのか。結婚差別には、憤りを感じる。更なる啓発活動。という認識のもとで啓発活動を進めなければならない。など、反省の意見や今後の啓発に向けた数多くの意見が出され、参加された指導者の方々の差別をゆるさない強い思い、差別解消に対する熱き思いを肌で感じる事ができました。

今後も、同和教育をはじめあらゆる人権問題の解決につながる活動を展開していかねばならない。「差別はしない、させない、見過ごさない」との認識のもと、私たち一人ひとりが自分自身の問題として理解を深め、真に人権が尊重される社会の実現を目指していかなければと強く感じる研修となりました。

広 報

文 芸

伊方俳句会

人柄の情に感謝年暮るる

長野しづこ

師走来る餅搗く準備話し合ふ

菊池ましえ

袴着の雄々しき少年七五三

池田君子

加茂本阿弥雌しべ飛び出し咲

明神つた子

野地菊や待合室の土地訛

松坂正子

聖夜の灯まばゆく天の星貧し

梶谷千代子

冬空の半島遙かかすむ島

門田千枝

旧友と居て和むひと日や返り
花 井上良枝

秋景色額に入れたし絵の如し

上田幸香

着ぶくれて胸に小さき悔一つ

渡辺日出子

去年今年風の蒼しや海渡る

上田サチエ

屠蘇の膳行儀正して子等並ぶ

山崎美喜

年の瀬に臍繰り化けて宝くじ

石井義夫

晩秋の水面に揺るる遠灯り

宇都宮法子

夕焼けに藁ぐろの蔭長く伸ぶ

篠川晴子

真つ直ぐに天を仰いだ花芒

宇都宮睦子

朝参り石段のぼる初冬くる

足利敦子

曾孫の生れし電話冬ぬくし

篠川勝子

家毎に老人が縋ふ注連飾り

二宮寿賀子

蜜柑倉庫節穴よりの初灯り

木戸悦子

瀬戸句会

足早やに過ぎる人みなマスク

して 福岡 博

子ら遠く病のわれに春遠く

本田光男

北風が心に沁みる昨日今日

小関秀次

小鳥来るうれしさよわが狭庭

吉見福子

蜜リンゴ歌つて踊る同胞よ

松下イトコ

手のひらに受けて正月祝いか

な 佐々木マサ子

天草の夕日肴に新酒酌む

浅井ミドリ

生かされし身の幸せや落葉掃

く 大星幸子

枯枝が串刺しにして冬の月

佐々木忠雄

秋の山一枚の葉はわが姿

八代征雄

法要を終へて座敷の秋気かな

佐々木 煦

秋茄子のみづみづしさや少女

過ぐ 佐々木禮子

晩秋の陽よ大仏の膝暖めよ

岡本 登

丹精の菊の香残し逝った父

結城励子

紅葉散る自由気ままに舞いな

から 佐々木サチ子

全山紅葉肩寄せ合うて家二つ

木田英二

遥かなり母と羽子板持った日

井上幸子

山茶花落ちこぼれ強き雨足

加藤慶子

三机句会

燃ゆる如カーブミラーの夕紅

葉 道下雅勝

坑道の開かずの門に冬日射す

大野律子

枯尾花岬の風にちぎれ飛ぶ

安田増子

旧国道断崖を打つ冬の波

長谷美久仁

おでん煮て海より帰る夫を待

つ 山本タカエ

法被着て女庭師の松手入

高地瑠美子

あみだ句会

木犀の香り漂ふ散歩道

松本ツタ子

それぞれの人惚ぼるる巳午餅

西上ミツヨ

穂に重さ加へて暮るる芒かな

阿部ヨシ子

健康歩野菊の蕾香り待つ

菊池タツエ

秋日和青石集め公園に

中村千代香

日々の子供の墓参や秋しぐれ

池上松子

寝たきりの母動かずに冬の虫

高月 仁

避難訓練久しき顔の着膨れて

木原敬明

霜月や見舞に來し人先に逝く

塩崎信子

わが庭の蜜柑仏となりし子に

池上 馨

銀杏の踏まれて匂う寺の道

池井為吉

